

所蔵作品展  
たんけん！こども工芸館  
ジャングル⇄パラダイス  
Crafts Museum for Kids & Adults: Welcome to the Jungle!  
2021年7月17日 [土] - 9月26日 [日]

この夏、国立工芸館で「こども」と「工芸」を結びつけた鑑賞を始動！！  
金沢移転後、初の「所蔵作品展」(約200点)を開催！



Fig.1 展覧会チラシ

東京で約20年間、子どもたちと一緒に工芸を見続けた成果を反映した、展覧会を開催します。

当地・金沢から得たイメージもこの展覧会の柱となりました。生活の簡便化が進む今日でも工芸の伝統を身近に感じる地域性、そして見渡せば街なかとは思えない豊かな自然——この環境を生かし、地元を、日本を誇りとする人の成長過程に「工芸」というキーワードを取り入れていただけたらと願っています。

そしてもちろん！本展は子どもたちだけのものではありません。国立工芸館が自信をもってお届けする「所蔵作品展」として、人間国宝をはじめ、多彩な表現領域で活躍する工芸作家が手がけた名品の数々をご用意しました。

眉間にしわ寄せ向き合うのではなく、作品が発散するエネルギーを呼吸するようにそれらを味わう贅沢もまた、夏らしい楽しみ方ではないでしょうか。子どもの直感と大人の教養、この2つのまなざしが工芸をますます輝かせることを期待しています。

## 楽しみかたイロイロ

### ◆マップを片手にジャングルたんけん！

探検の足取りを楽しく記録できるガイドマップをお配りします。一緒に配布する組み立て式のジロメガネ(紙製)は、簡単な仕掛けながら案外よく見えるとのウワサ…。

先着10,000名(子ども2,000名/大人8,000名)。

小学生以下のお子さんにはジャングルコースターもプレゼント(先着2,000名)。

### ◆ジャングル図鑑byキッズ

過去の子ども来館者のワークシート「工芸図鑑」から、とっておきのジャングル&パラダイスをご紹介します。絵と言葉で作品を紹介する子どもたちの鋭い視点は思いがけないほど。ワークシートを微笑ましそうに眺めていた大人たちが「!!!」を浮かべながら会場に戻る光景もしばしばでした。実は展覧会名の「たんけん！こども工芸館」には、子どもたちの「工芸観」、彼らのラディカルな鑑賞手法で工芸をみませんか？というメッセージもこめているのです。

### ◆#ジャングルパラダイス

身近なものにも、ジャングルでパラダイスな景色が潜んでいるかも。あなたが出合った「#ジャングルパラダイス」を発信し、インターネットの世界に生命の美とパワーを広げましょう。

## 工芸の森を探検しながら、今、体感したい生の息吹

### 工芸の森でエネルギーチャージ



Fig.2 小川雄平  
《陶製黒豹置物》1933年

世界は果てしなく、私たちの憧れをかきたてます。  
どこかへ行きたい—そんな時はぜひ工芸館へ。

この夏のテーマはジャングル、そしてパラダイス！

工芸の森を探検しながら、今ふたたび、生の息吹を体感しませんか？

子どもから大人まで楽しめるプログラムをご用意してお待ちしています。

### ジャングル？パラダイス？ジャングル⇄パラダイス！

“ジャングル”と聞いてどんなイメージが浮かびますか？

今なお神秘的に響くこの言葉の由来はヒンディー語の *jungle*。

意外にも、この言葉はインド語系では歴史的に熱帯雨林などの特定の生態系を指すものではありませんでした。

ある本ではジャングルの定義を次のように伝えています：「5年、ひよっとするともっと長く荒地だった場合、そこはジャングルと呼ばれる」。

もっとも、荒れたと見るのは人間の都合です。ジャングルの勢いは人間を圧倒し、手をつけられないというのが正直なところ。ジャングルを眺めながら、畏怖に似た感覚がよぎったとしても不思議はありません。

では工芸に表された自然はどうでしょう。

もようやかたちと成すために整えられた様子はむしろ人工の極致。鬱蒼とした森林とは対照的な朗らかさで、たとえるならば“パラダイス”——「囲まれた園」のほうがじっくりとくる気がします。

けれどそう簡単に割り切れないのが工芸の奥深さです。

どれだけ簡略化し、現実ではありえない組み合わせや、別の物質を用いたとしても、工芸は抜群のデザインと技術によって、モチーフに選んだ姿かたちや性質までをくつきりさせるのです。

そうして仕上がった“自然”には、もつれるほどに伸び、増え、広がる生命力への憧れや、時には呪術的な願望がこめられ、作品の存在感を際立たせてきました。

自然と人工とのあいだを行き来しながら美を磨き、私たちの生活を支えてきた工芸の魅力を味わいましょう。きっと、明日への活力に繋がる豊かな世界観が広がっているに違いありません。

## “たんけんポイント”

### ◆ジャングルナイト

ジャングルの夜にうごめく命のしるし。目を凝らし、耳をすませて歩を進めよう。



Fig.3 大島如雲  
《鑄銅大膽瓶》1908年

### ◆アニマルハマル

怖かったり可愛かったりちょっとおとぼけだったり。どの動物たちも工芸のかたちにぴったりはまり、きっちりカッコイイ。



Fig.4 稲垣稔次郎  
《木綿地型絵染壁掛 虎》1960年

### ◆満開！

花も葉も実も絶好調。作り手も鑑賞者も魅了してやまない植物たちの最高の姿を満喫したい。



Fig.5 田嶋悦子  
《Cornucopia 08-Y2》2008年

※会期中一部展示替えがあります。  
(前期：7月17日～8月22日、後期：8月24日～9月26日)

## 期間限定！夜の工芸館 開館

移転後初、下記の日程で通常の開館時間を延長し、20：00まで（入館は19：30まで）の夜間開館を実施します。

この期間だけの特別な鑑賞体験をお楽しみください。

### 【夜間開館日】

7月： 23日（金）、24日（土）、30日（金）、31日（土）

8月： 6日（金）、7日（土）、13日（金）、14日（土）

(計：8日間)



Fig.6 長野埜志  
《白銅木兔花瓶》1956年

## 開催概要

展覧会名(日)	所蔵作品展 たんけん！こども工芸館 ジャングル⇄パラダイス
展覧会名(英)	Crafts Museum for Kids & Adults: Welcome to the Jungle!
会期	2021年7月17日 [土] - 9月26日 [日]
会場	国立工芸館 〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2
主催	東京国立近代美術館
開館時間	9:30 ~ 17:30 (夜間開館日は9:30 ~ 20:00) ※入館は閉館の30分前まで
夜間開館日	7月23日(金) ~ 8月14日(土) までの金曜日・土曜日 (計: 8日間)
休館日	月曜日(8月9日、9月20日は開館)、8月10日(火)、9月21日(火)
アクセス	○バスにて JR金沢駅兼六園口(東口)より 【北鉄バス】 3番乗り場: 18系統に乗車、「広坂・21世紀美術館(石浦神社前)」下車徒歩7分 7番乗り場: どの系統でも乗車可、 「広坂・21世紀美術館(しいのき迎賓館前)」下車徒歩9分 6番乗り場: 乗車(「柳橋」行を除く)、「出羽町」下車徒歩7分 ○車にて 北陸自動車道金沢西ICまたは金沢森本ICから20~30分。 近隣に文化施設共用駐車場(無料)があります。
観覧料	一般 300円(250円) 大学生 150円(70円) ※高校生以下および18歳未満、65歳以上、MOMATパスポート・学パスをお持ちの方、友の会・賛助会員の方、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバーパートナーは本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。 ※( )内は割引料金 割引対象: 近隣文化施設との相互割引を実施しています。
イベント	※決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。
本展の特記事項	オンラインによる事前予約(日時指定・定員制)を導入予定です。 また若干数、当日券もご用意しています。 詳細は公式WEB ( <a href="https://www.momat.go.jp/cg/">https://www.momat.go.jp/cg/</a> ) でご確認ください。

報道関係の方の  
お問合せ先

### 国立工芸館

展覧会担当/今井 広報担当/藤田・小島  
Tel: 076-221-1955 (広報直通) E-mail: koge-pr@momat.go.jp

掲載用お問合せ先

Tel: 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

公式HP

<https://www.momat.go.jp/cg/>

**広報用図版 請求票**

**FAX:076-221-1969** 広報担当 行

発信日 年 月 日

<input checked="" type="checkbox"/>	No.	作品／図版名称
	1	展覧会チラシ
	2	小川雄平《陶製黒豹置物》1933年
	3	大島如雲《鑄銅大膽瓶》1908年
	4	稲垣稔次郎《木綿地型絵染壁掛 虎》1960年
	5	田嶋悦子《Cornucopia 08-Y2》2008年
	6	長野埜志《白銅木兎花瓶》1956年

\*上記作品(No.2-6)はすべて東京国立近代美術館蔵

ご希望の図版の左枠内にを入れてFAXまたはメールでお送りください。

■クレジット

No. 2,4,5,6は「撮影:斎城卓」と表記してください。

■プレス・イメージ貸出条件

1. 画像は、展覧会広報のみにご使用ください。
  2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。
  3. 画像は全図で使用してください。作品部分のトリミング、作品に文字を重ねることはできません。
  4. 画像を掲載される際には、貸出時に添付するキャプション・クレジットをご記載ください。
  5. 掲載紙(誌)は、1部広報担当宛にご寄贈ください。web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。
- ※画像データ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。  
※掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。

御芳名

貴社名

出版物・放送番組・webサイト名など(発行日等):

URL <https://www.>

TEL

FAX

E-MAIL

\* 展覧会をご紹介いただける場合は、読者プレゼント用招待券をご用意しております。  
プレゼント用招待券を 希望する( 5 組 10 枚 ) / 希望しない

招待券送付先: 〒

報道関係のお問合せ先

国立工芸館(東京国立近代美術館工芸館) 広報担当/藤田・小島  
TEL:076-221-1955(広報直通) FAX:076-221-1969  
E-mail:kogei-pr@momat.go.jp 公式HP:<https://www.momat.go.jp/cg/>